

## これまでに橈骨遠位端骨折の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院整形外科では「橈骨遠位端骨折患者における治療経過の後ろ向き観察研究」という研究を行っております。この研究は、治療成績や合併症発生に関わる因子を調べることを主な目的としています。そのため、過去に橈骨遠位端骨折の治療を受けた患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、橈骨遠位端骨折の方で、西暦 2014 年 7 月 1 日から西暦 2024 年 9 月 30 日の間に整形外科で橈骨遠位端骨折治療（検査）を受けた方です。

・利用させていただく検体、カルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

被検者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、基礎疾患、内服薬  
橈骨遠位端骨折の理学的所見、血液検査所見、画像所見、スコアリング、発症リスク因子

治療開始時・治療後の外来受診時・最終観察時（本研究承認日時点で得られる情報を最終観察時のものとする。承認日以降に新たに得られる最終観察時の情報は含まない。）での手関節の状態（理学的所見、血液検査所見、画像所見、スコアリング）

期間：西暦 2014 年 7 月 1 日～西暦 2024 年 9 月 30 日

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 研究実施許可日 ～ 西暦 2026 年 12 月 31 日まで

・研究責任者 内藤 聖人

過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、整形外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属順天堂医院 整形外科・スポーツ診療科

電話：03-3813-3111

研究担当者：内藤 聖人